

豊原中津国 里里 海浜



この地に根ざしたスローな自然保護。

▼「身土不二」という言葉があります。心身と土、つまり人間と風土は切り離すことは出来ないという意味です。自分の住む西四里四方(16キロ程度)の旬のものを正しく食べよう、という考えが明治30年代の軍医によって主張された時にスローガンとして使われました。明治維新以降、ヨーロッパの食生活を真似る人が増えて、それまでの日本になかった病気も増えてきたためだということです。

▼私たちが住む中津の風土には、周防灘に向かっ広がる海と干潟、山

国川沿いの肥沃な台地、川をさかのぼれば深い山がひかえるという特徴があります。そのなかで海の産物、山の産物がバランス良く集積していく歴史が、そのまま中津の伝統や食文化の成り立ちと重なっているのです。

▼例えば中津では、千数百年前の貝塚や、たづぼを野焼きした焼きした場所が遺跡として発見されます。遠浅の海で貝を拾い、海の幸を捕獲して命の糧とする...当時の知恵が今の生活に脈々とつながっていることがわ

生活をして最近切実に思うのは、自分が住む場所を大切にしよう、そこにしか生まれることが出来ないものを大切にしようということに気がついたからではないでしょうか。そして歴史はこの繰り返しの流れの中、中津の海と浜の良さを見つけて、そしてこの地に誇りを喜びを分かち合うこと...この穏やかなつながりが少しずつ広がっていくことを心に描きながら、わたしたち水辺に遊ぶ会は、地に足をつけた活動を頑張りたいと思っております。

- ### ■水辺に遊ぶ会の活動報告
- (2005.1.1~2004.3.31)
- 2005.1.14 今津公民館高齢者教室講師
 - 2005.1.24 中津の海と人の昔を語ろう会 (ゲスト: 清崎滋さん・尾西さん)
 - 2005.1.29~30 シギチドリ類一斉調査
 - 2005.1.30 ズグロカモメと冬鳥観察会
 - 2005.2.1 国東歴史体験館見学
 - 2005.2.9 南部公民館女性学級講師
 - 2005.2.10 宇佐郡小中学校PTA 女性部学習会講師
 - 2005.2.14 如水公民館女性学級講師
 - 2005.2.15 山国川学習館打ち合わせ
 - 2005.2.16 wave:港・海辺活動振興助成 報告会出席 (東京)
 - 2005.2.22 第3会清らかな水源保全条例 検討委員会出席
 - 2005.2.23 第4回大分県新長期総合計画 策定県民会議出席
 - 2005.2.24 山国川学習館運営委員会
 - 2005.2.28 中津の海と人の昔を語ろう会 (ゲスト: 広津正行さん)
 - 2005.3.6 エメックスNGOフォーラム in 神戸「海」の環境保全への市民参加 求められているものは?」パネリスト参加
 - 2005.3.9 豊田公民館出張講座講師
 - 2005.3.11 中津保健所 環境講座講師
 - 2005.3.19 山国川学習館オープニング
 - 2005.3.23 第4会清らかな水源保全条例 検討委員会出席
 - 2005.3.25 WWF Japan 日野事務局長と 中津市長訪問 漁業者よりヒアリング
 - 2005.3.26 大新田地区舞手川河口周辺 環境整備協議会参加
 - 2005.2月~3月19日 山国川学習館開会 のための図書整理作業
 - 2005.3月19日以降 山国川学習館図書 の定期的な整理と管理

水辺に遊ぶ会2005年度の活動は「WWF Japan 自然保護助成」より、主催イベント「たづぼ 漁に挑戦だ!」には「子ども夢基金」より一部助成を受けています。

豊後の水軍、浦辺衆で岐部一族出身のクリスチャンペトロ・カスイ・岐部の生き方にふれています。航海と歩きでエルサレムに。帰国後は殉教死したが彼の気骨は海で養われた!

水辺に遊ぶ会のサイト上に、流行のブログで「電脳的濁海通信」を作りました。事務局の日々の戯言を徒然なるまま掲載中です。目指せ! 毎日更新! 読んで、感想聞かせてちょ!

へんしゃうこうさき

伝言板

おしらせ★その1

ビーチクリーン & 漂着物調査2005 始動します!

●おそうじ日は5月3日(祝)午後1時から

●第1回目の通常清掃は6月5日(日)スタート (詳しくは同送チラシを見てね!!)

今年もみなさまのご協力をお待ちしています!

おしらせ★その2

春だ! 干潟だ! 観察会へGO・GO・GO!!

●干潟を守る日2005協賛イベント 「大新田干潟観察会」は 5月3日(祝)午前10時集合

★詳しくは同送の「干潟を守る日2005チラシ」を見てね!

今年もカブトガニに あえるかな?

おしらせ★その3

作っちゃおう・食べちゃおう

~古代中津人になって、たづぼ漁に挑戦だ!!~

★ただ今イベント真っ最中!

名作? 迷作? たづぼが野焼きの出番を待っています。

★おかげさまで参加予想人数の倍近いご予約をいただき、ありがとうございました。参加受付は終了しました。予約なしの当日参加はお受けできませんのでご了承ください。

★たづぼ漁で大忙し!! なので 4月・5月の「中津の海と人の昔を語ろう会」はお休みしま〜す。

アヤシイ干潟調査隊2005よりおしらせ

カブトガニ調査隊員大募集!!

詳しくは、水辺に遊ぶ会事務局まで!

★毎月11日はジャスコでお買い物★イオン三光SCイエローシートキャンペーン 毎月11日にお買い物をして黄色いシートを食品レジ前の「水辺に遊ぶ会」BOXに入れていただくと、お買い物金額の1%が水辺に遊ぶ会の活動資金として寄付されます。よろしくね!

水辺に遊ぶ会MUSEUM

水辺に遊ぶ会ミュージアムは「建物のない博物館」です!

<http://www.geocities.jp/kabunykun/index.html>

ホームページもそいでみてね!

ご意見・ご感想など、みなさまの声をお待ちしています。

URL:<http://www.max.hi-ho.ne.jp/y-ashikaga/>
e-mail:mizube1999@yahoo.co.jp

お散歩スポット登場

その一

年度がかわって最初のお話は舞手川、大新田の東側にちよこつと貼り付くように存在する小さな川とその河口が、日本から姿を消しつつある河口域の生きもの達のパラダイスであることは、ガタガタ通信読者ならご存じのハズ。この小さな河口湿地を守りながら、後ろの田畑や土地を高潮や浸食から守るためにはどうしたらいいんじやるか！と大勢の人が頭つきあわせて考えること五年。この春、護岸工事が始まったと聞き、早速取材に！あれあれ、陸地のはじっこに護岸がないよ？？と思ったら、湿地を残した陸側に護岸を作っていた。そう、これが有名？な「セツトバック護岸」。海岸線に沿ってピシッとコンクリートを張るのがおなじみの海岸護岸だけれど、河口湿地をそのまま残して、背後に護岸を下げることで湿地の自然と高潮対策の両方の目的を達成したのだ！(図



森・川・海…自然はみんな水でつながっている。

そんなことを知らなくても、鰻や鮎や自然の中の生きものたちは、川から海へ、海から川へと自在に動き回っている。わたしたちも水の流れるように、森・川・海のあいだを春の陽射しを一杯に浴びながらゆらゆらと漂ってみようか。

「海のためちよつとガマン」水辺を遊ぶ会宣言発令中!

ノーベル平和賞受賞のマータイ女史が環境保護のため日本語の「もったいない」を世界に広げようと言ったのは有名な話。「もったいない」文化を育ててきた私たちの今のくらしはどうだろう？ 浜辺の漂着物ひとつ見ても、「何で捨てるかなー？」とこぼしたくなるような品々が日々点々と打ち寄せます。日本の消費経済は大事。でも、子どもたちの、地球の未来ももっと大事。だから、海のため子どものため地球のためにちよつとだけガマンしませんか？

…というわけで？ 2004年度ビーチクリーン&漂着物調査の報告です。

- ・年4回(4・6・9・12月)の参加者:のべ約1000名
- ・回収したごみは家庭用のゴミ袋に換算すると・・・
- 可燃物65袋(1120kg)
- 不燃物66袋(460kg)
- 粗大ごみ(930kg)

★ご参加くださった皆さま、お声がけしてくださった企業の皆さま、中津市清掃一課の皆さまに心よりお礼申し上げます。

・漂着物調査(定点内のゴミを素材別に集計)

- ・2004年度のフースト5は・・・
- ①プラスチック破片 ②ロープ・ひも類 ③ガラス破片 ④食品包装、容器類 ⑤発砲スチロール破片

★東九州龍谷高等学校・中津中学校・日本文理大の生徒さん、大分県エコボランティアの皆さまに御協力いただきました。ありがとうございました!

★調査結果はJEAN(クリーンアップ全国事務局)に提供、全国の漂着ごみの分析に使われます。

☆台風により大新田海岸および三百間海岸に漂着した大量のごみは、大分県中津土木事務所さんのご尽力により、チップ処理が行われリサイクル利用されました。



をみてね)こんなこと、日本中どこを探してもやってないらしいよ。エヘン! 海岸の土地の関係者さんお役所の担当者さん、中津の海が大好きな市民、中津ファンの研究者さん:みんなが一生懸命考えた話し合ったりした結果だ。そうそう、我が水辺に遊ぶ会の面々も頑張ったんだ。工事が終わると、お散歩にGOOなスポットになるそうなので、今度みんなで遊びに行きたいね。そして、これからもこの小さな浜をみんなの手で大事にしていきたいね。

中津市が広くなった。つまり、山国川は源から海まで全部中津市の中に入ったというこららしい。一級河川がそっくり丸ごと、しかも海まで全部入った市町村は日本広しと言えど、なかなかあるもんじやない。すごいぞ! 中津市! と春からガタガタ通信編集部では興奮気味。そんな中、お散歩スポットが登場した。その名も「山国川学舎」。え? なんだか難しそう? 平成大堰の横の山国川河川事務所の一階にできたこの施設では、山国川や流域の環境、さらにはダムや事務所のお仕事などについて知ることが出来る。大きな水槽にはギギやオイカワ、テナガエビなどが気持ちよさそうに泳いでいるし、本もいっぱいあるので調べ学習にも最適。実はこの蔵書整理や管理、水辺に遊ぶ会事務局がお手伝いしているとか。他の図書館にはないマニアな本がいっぱいあるらしいよ。興味のある方も、そうでない方も是非一度足を運びあれ。

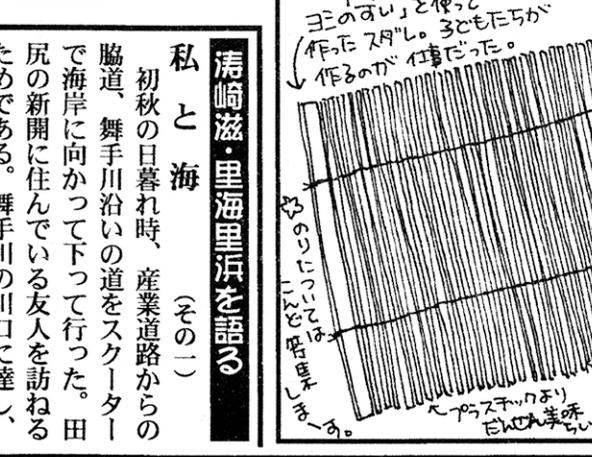
★山国川学舎 0979-228092
http://www.yamakuni.jp

お散歩スポット登場

その二

水辺に遊ぶ会 ミュージアム展示 No.3 海苔すだれ

中津干潟絶滅危惧種指定IA類。海苔を干す際に使用するすだれ。中津で海苔養殖が始まった頃は「エシ」の茎で作られていたが、やがて竹になり現在はプラスチック製となった。この変遷を現す三種のすだれを広津様より当ミュージアムへ提供いただいた。見学希望の方は事務局まで。ちなみに天日干の海苔の味は絶品だ。



よい子の里海浜 図鑑

清崎滋・里海浜を語るの私と海 (その一)

初秋の日暮れ時、産業道路からの脇道、舞手川沿いの道をスクーターで海岸に向かって下って行った。田尻の新興に住んでいる友人を訪ねるためである。舞手川の川口に達し、西方に目を移すと、真紅の夕日が今まさに遙か小祝島に沈もうとする直前、夕焼けが空と波静かな豊前海を赤々と染め、さながら一幅の絵画を見るような素晴らしい風景である。私は暫し感動で時の経つのも忘れ日没の情景に心を奪われていた。

そして、現実を引き戻された私の脳裏に、かつてさらさらとした田尻、大新田の遠浅の砂浜の美しさ。魚貝類の宝庫だった豊前の海は今では悪臭を放ちどろどろした泥の海、魚貝類が住めない死の海に化しつつある。現実に思い駆せ、言い知れぬ激怒とどうすることも出来ない無力感に襲われた。私をはぐくみ育ててくれた「豊前の海」、少年、青年期にかけた「私と海」との関わりの数々が老齢を迎えた今も懐かしく鮮やかに蘇ってくる。

(次号へ続く)